

「公民館講座」でいきいきと学び交流
特集・公民館講座

生涯学習の一環として各地区公民館で開かれている公民館講座。今年度も定期講座、公開講座で多くの市民が学習と交流を深めました。生きがいづくりに大きな役割を果たしているこの公民館講座を受講生の皆さんの体験談・感想を添えてご紹介します。

余暇時間の増大や高齢化、生きがい、心の豊かさを求める志向の高まりなどを背景に、住民の学習ニーズが年々高まっています。

このような中、生涯学習の拠点の一つである各地域の公民館の果たす役割は益々重要となっております。公民館では、青少年から高齢者までを対象とした文化活動や生きがい創造のための機会提供を行っています。活動の中で最も中心となるのが公民館講座。北秋田市には、4地区で12の公民館・分館があり年間を通じてさまざまな講座が開かれています。

市では自主事業として、6カ月から1年にわたって開催する「定期講座」、単発で随時開催する「公開講座」を開いており、さらに県や婦人学級でも家庭教育や暮らしをテーマとした講座を企画開催しています。種類も様々。歴史・文化を学ぶ／自然を体感する／物作りを楽しむ／知識・教養を高める／コミュニケーションづくり等々それぞれの趣味趣向に応じた講座が用意されています。



今年度の「学びの広場」で紹介した写真です



▲栄公民館のカラオケ講座。始まったときは尻込みしていたメンバーも、回を重ねるに連れこのように和気あいあいと歌を楽しむようになりました



▲ステージで踊りの講座「千鳥会」の成果発表をする畠山さん(右)。このほか、料理やパンフラワー教室なども受講し、積極的に公民館活動を楽しんでいます



佐藤秀子さん(59)
栄字摩当

「歌は地域の絆」

以前の栄公民館の定期講座は手芸、民舞、レクダンスと主に女性を対象としたものでした。次期計画を話し合った時、この地域は高齢者も多く、また街にも遠い。なにか楽しさが必要と日頃から感じていた所に会員の

中から「歌つこでもやらないう？」という声が出ました。

「んだ、爺さんや婆さん父さん方も呼ばねがー」の一言が『歌のつどい』定期講座の出発でした。

1年目は15人の会員でスタートしました。カラオケを準備し、いざ歌おうとマイクを向けようとすると「えでば！えでば！」と尻込み。結局1人か2人の歌に合わせ小声で口ずさむ程度でした。

2回目、歌いたくないとも見える表情が見え隠れ。3回目、欠席者も無く誰もが公民館に入ってくる。表情は明るい！。とうとう堰が破れたよ

うに歌うや歌う50代から70代。大盛況でした。

これがきっかけで月2回の講座は2年目も欠席者も無く春夏秋冬歌い続けることが出来ました。

この間に会員がそれぞれ一役を担い、地区祭典日に「地域の歌のつどい」を企画、30人の参加で歌を楽しむことが出来ました。地域ぐるみの歌声は、地域の絆、地域の信頼に結びついてきた気がします。

「これからもずっと自主活動として続けたいね」と会員の声。嬉しさを感ずる定期講座でした。



畠山久子さん(67)
木戸石字屋布岱

「不器用でも講座は楽しい」

合川公民館では、14種の講座に延べ200人が受講しております。どの講座の受講生もそれぞれ意欲満々で創作に励んでいるであろう事は、公民館のロビー展や文化祭の作品展、舞台発表のすばらしさからも窺

い知ることが出来ます。私は、下手の横好きで、あれもこれも習いたいと思うのですが現実にはそうもいかず、千鳥教室(60歳以上の踊りの会)と料理、パンフラワー(森吉公民館)を受講しています。根が不器用なのでどれも他の人のようには上達しませんが、講師や仲間の方々に励まされ、雑談で心が癒されます。

10月の料理講座では鮭ずしを習いましたが、これがどれも美味しくて、ついでにハタハタずしの漬け方も教えていただいたので、今年自己流ではなく、先生流で漬け込みました。

漬け上がるのが今から楽しみです。このように講師の方、受講生の方からも生活の知恵等を教えていただき、余暇も楽しみます。また、受講時間も2〜3時間で、在宅介護中の私には利用しやすくありがたいことです。そして公民館職員の方々がいつも元気で気さくな対応をしてくださるので、気軽に講座に参加させていだいていきます。

